



全労連 憲法闘争ニュース 速報版

<http://www.zenroren.gr.jp/> TEL 03-5842-5610 FAX 03-5842-5620 No.18

沖縄・埼玉で参考人質疑 戦争法案に強い危惧 与党推薦も「慎重審議を」

与党側が来週にも戦争法案の強行採決のかまえを見せる中、衆院安保法制特別委員会は6日、沖縄県那覇市とさいたま市で地方参考人質疑を行い、それぞれ5人が意見陳述しました。法案への強い危惧とともに、慎重審議を求める意見が相次ぎました。

那覇市では稲嶺進・名護市長が、戦争法案は「国のあり方を変える危険きわまりないものだ」と指摘。「法案が成立すれば、日米一体の軍事行動が増え、他国の紛争に巻き込まれるリスクが高まる。そうなれば、米軍基地が集中する沖縄が一番に狙われ、再び戦場になる。またしても沖縄は捨て石にされる」と述べ、法案の撤回を求めました。

地元紙・琉球新報の高嶺朝一（たかみねともかず）前社長は、「戦争法案と辺野古新基地建設という二つの対米誓約が沖縄に災いをもたらす」と反対を表明。「平和憲法とともに歩んできた日本こそ、中国など周辺諸国と率直な対話をすべきだ」と述べました。

大田昌秀元沖縄県知事は辺野古新基地建設に反対を表明し、「軍隊が住民を守らないことは歴史の教訓だ」と述べ、沖縄戦の教訓を踏まえて審議すべきだと述べました。

与党推薦の古謝景春（こじゃけいしゅん）・南城市長、中山義隆・石垣市長はいずれも法案に賛成しましたが、「国民の理解が深まっているとはいえない」（中山氏）、「国民にはまだまだ不安がある」（古謝氏）と、慎重な審議を求めました。

さいたま市では、3人の弁護士が、いずれも戦争法案の違憲性を指摘。強行採決を行わないよう求める声も相次ぎました。

埼玉弁護士会の石河秀夫会長は「明白に憲法に違反する法案であり、ただちに廃案にすべきだ」と指摘。「国民の理解が得られないまま、強行採決にいたった場合は徹底してたたかう」と強調しました。

「明日の自由を守る若手弁護士の会」の倉持麟太郎弁護士も「政府の説明、答弁はあまりにも不合理、不誠実、不十分であり、法案の民主的正当性は欠如している」として、廃案を求めました。

東海大学法科大学院の落合洋司特任教授（弁護士）は「限定的とはいえ、集団的自衛権行使を憲法上認めることは肯定しがたい」と指摘しました。

特別委員会地方参考人会（公聴会）埼玉会場周辺で300人が包囲・監視行動

さいたま市では13時から、那覇市では12時から地方参考人会が開催されました。

那覇市会場では、自民党の「勉強会」での百田氏や議員たちの発言をめぐって、参考人は立場を超えて「沖縄蔑視」と批判、戦争法案については「他国の紛争に巻き込まれ、米軍基地が集中する沖縄がいちばんに標的にされる可能性が高い」（稲嶺名護市長）と反対し、与党推薦の参考人も慎重審議を求めたと報じられています。

さいたま市大宮区の会場では、与党推薦の佐伯埼玉県商工会議所連合会会長、細谷慶応大学教授が賛成論を、野党推薦の石河埼玉弁護士会会長、落合弁護士・東海大特任教授、倉持弁護士・明日の自由を守る若手弁護士の会会員は反対論を述べました。

会場周辺では「9条壊すな、戦争させない県民の会（仮）」が呼びかけた大宮駅西口デッキ集合の公聴会包囲・監視行動に300人が駆けつけました。

列島騒然のうねりを 戦争法案阻止の国会行動など強化しよう

戦争法案をめぐる党は7月3日の特別委員会で、採決の前提となる中央公聴会の7月13日開催を賛成多数で強引に決定するなど、7月中旬の特別委員会採決をめざす動きを強めており、事態は非常に切迫しています。職場・地域から世論と共同をいっそう強化し、安倍政権を何重にも包囲する緊急のとりくみが求められています。

先般、全労連連絡（6月29日付）で「戦争法案NO！緊急行動旬間」（7月6～18日）など、“強行採決を絶対許さない”“必ず止める”列島騒然の状況をつくりだす特段のとりくみをお願いしているところですが、「特別委員会強行採決7月15日、衆院本会議採決16日」などの情報も飛び交う中で、総がかり行動実行委員会の新たな行動提起も踏まえ、7月6日付全労連連絡で以下のとおり、国会行動等への結集強化を要請しています。

この国のあり方の根本が問われる極めて重大な局面で、労働運動の原点に立ちかえり、最悪の違憲法案を許さない悔いなきたたかいを展開しましょう。＜詳細は、全労連連絡14-15-44（7月6日付）＞

-----当面の主な憲法闘争に関わる行動（7月）-----

7月7日（火）

◆総がかり行動いっせい宣伝（毎週火曜）

- *日時：7月7日（火） *場所：全国各地 *憲法共同センターは18：00から都内各所
新宿駅東口・茗荷谷駅・巣鴨駅・西新橋1丁目交差点・JR四谷駅・上野マルイ前・御茶ノ水駅・大塚駅
*主催：戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会

7月8日（水）

◆戦争法案・一般質疑 傍聴行動

◆定例国会行動

- *日時：7月8日（水）12：15～13：00 *場所：衆院第二議員会館前
*主催：国民大運動実行委員会 etc.

7月9日（木）

◆戦争法案採決許さない・緊急座り込み行動

- *日時：7月9日（木）10：00～17：00 *場所：衆院第二議員会館前
*主催：戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会

◆9の日大行動

- *日時：7月9日（木） *場所：全国一斉！（職場・地域で総行動）
（憲法共同センターは12：00～新宿駅西口）

◆戦争法案反対 総がかり国会行動（毎週木曜）

- *日時：7月9日（木）18：30～19：30 *場所：全労連など憲法共同センターは参院議員会館側
*主催：戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会

7月10日（金）

◆戦争法案・集中審議（首相出席）

◆戦争法案採決許さない・緊急座り込み行動

- *日時：7月10日（金）10：00～17：00 *場所：衆院第二議員会館前
*主催：戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会

7月13日（月）

◆戦争法案廃案・中央公聴会抗議行動

*日時：8：30～（昼ごろまで） *場所：衆院第二議員会館前

*主催：戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会

7月14日（火）

◆戦争法案反対・署名提出集会

*日時：7月14日（火）15：00～17：00 *会場：砂防会館別館・六甲 3F

*主催：憲法共同センター

◆戦争法案反対！日比谷野音集会

*日時：7月14日（火）18：30～19：30 →デモ行進

*会場：日比谷野音音楽堂 *主催：戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会

7月15日（水）、16日（木）、17日（金）

◆戦争法案採決許さない・緊急座り込み行動

*日時：7月15日（水）13：00～17：00 *場所：国会正門前周辺

◆法案採決許さない・国会前行動

*日時：7月15日（水）18：30～ *場所：国会正門前を中心に ※連日1万人規模

*主催：戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会

～採決がずれ込んだ場合は7月22～24日も同様の行動～

7月21日（火）

◆総がかり行動いっせい宣伝（毎週火曜）

*日時：7月21日（火） *場所：全国各地 *憲法共同センターは18：00時から都内各所

新宿駅東口・茗荷谷駅・巢鴨駅・西新橋1丁目交差点・JR四谷駅・上野マルイ前・御茶ノ水駅・大塚

*主催：戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会

7月22日（水）

◆定例国会行動

*日時：7月22日（水）12：15～13：00 *場所：衆院第二議員会館前

*主催：国民大運動実行委員会 etc.

7月23日（木）

◆戦争法案反対 総がかり国会行動（毎週木曜）

*日時：7月23日（木）18：30～19：30 *場所：全労連など憲法共同センターは参院議員会館側

*主催：戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会

7月24日（金）

★中央行動 ★山場の中央行動！

*日時：7月24日（金）

12：15～ 決起集会（日比谷野音） 13：15～ 厚労省前・人事院前 要求行動

14：30～ 国会請願デモ 15：30～ 議員要請（戦争法案・派遣法）など

*主催：春闘共闘・全労連

↓ ↓ ↓

◆安倍政権NO！0724大行動

*日時等：7月24日（金）18：30～21：00

18：30～19：30 日比谷野音集会 19：00～21：00 官邸包囲・官邸抗議

*主催：安倍政権NO！☆実行委員会

7月26日（日）

◆とめよう！戦争法案7・26国会包囲行動 ★全国から大結集を！

*日時：7月26日（日）14：00～15：30 *場所：国会周辺

*主催：戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会

7月28日（火）、

◆戦争法案反対！日比谷野音集会

*日時：7月28日（火）18：30～19：30 →デモ行進

*会場：日比谷野外音楽堂 *主催：戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会

7月30日（木）、8月6日（木）

◆戦争法案反対 総がかり国会行動（毎週木曜）

*日時：7月30日（木）18：30～19：30 *場所：全労連など憲法共同センターは参院議員会館側

*主催：戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会

単産・地方のとりくみ

【ヒロシマ労連】 とうかさん行動 恒例シール投票

とうかさん（広島のを代表するお祭り）初日の6月5日、広島市中区金座街入り口で、ヒロシマ労連主催の恒例シール投票が行われました。

「集団的自衛権行使の使容と自衛隊の海外派兵拡大をはかる安全保障関連法案が、いま国会で審議中」

「自衛隊の海外派兵拡大・武力行使となる政府案についてあなたは？」に、「わからない」と答える人も多く、法案が国民不在で強行されているとよくわかります。

投票結果は、法案に「反対」112票（84%）、「賛成」4票（3%）「わからない」17票（13%）。署名は11人に協力いただきました。

【全教広島】 僕たち戦争に行かなくちゃいけないの？

全教広島書記局は、毎週「憲法9条破壊の戦争立法！あなたは思う？」のシール投票を実施し、法案の危険性を訴えています。6月2日のお昼休みの行動では、次々にシールを貼ってくれました。連続2回の行動で、戦争に「反対」が50、「賛成」2、「わからない」が7でした。「ねえ、先生、僕たち戦争に行かなくちゃいけないの？」のチラシを多くの方が受け取り読んでいました。